

【礼拝賛美】イエスの血潮で
(★↓※↓★の順序で歌う)

★イエスの血潮で 救われ いやされ
天の御国へと 導かれる
イエスの血潮で 赦され 満たされ
尊い その血潮で

※天の父と こひつじイエス

ひざまずき歌う 聖なる御名

全地は歌う あがないの歌

栄光は主にあれ

【ご自由にお持ちください】

礼拝堂入口に置いてあります。

- ・教団標語入りカレンダー
- ・蒲田シオン聖書通読表

■ 1 / 1 元旦礼拝

一年を締めくくる礼拝、そして新年最初の礼拝と、兄弟姉妹と共に主を礼拝しつつ年を越えることができました。心より感謝を致します。

No.40 2025・1・5

博士たちは、王の言ったことを聞いて出て行った。すると見よ。かつて昇るのを見たあの星が、彼らの先に立って進み、ついに幼子のいるところまで来て、その上にとどまった。

マタイの福音書 2章9節

日本の社会ではお正月が大事にされるので、教会もクリスマス当日を越えようとクリスマス感が失われて、年越し・お正月・新年という雰囲気になります。しかし教会暦によれば今はまだ「降誕節」で、イエス様の御降誕を祝う季節です。

明日1月6日は「公現日(エピファニー)」

です。公現日は、東の国の博士たちが幼子イエス様のもとに辿り着き礼拝を献じたことを記念する日です。教会暦と西暦とは1ヶ月ほどのズレがありますが、新年が明けたころに公現日が定められていることは、新

しい年に踏み出す私たちへの聖霊の励ましであるように思います。というのも、マタイ2章に記されるそれぞれの出来事には、信仰者が罪に支配されたこの世を生きる時に直面する困難と、しかしそこに神の導きと守りが与えられていることが証しされているからです。

まず覚えないことは、神は信じる者を導いてくださるといことです。東の国の博士たちは星の導きを得て進む道を知りました。また、ヘロデ王の魔の手が迫った時、博士たちも、ヨセフ家族も、主の使いの語りかけを得

てその難を逃れました。

もう一つ覚えないことは、神は必要を備えてくださるといことです。ヨセフたちにとってはエジプトへの逃避行は本来ならば資金的に容易ではなかったでしょう。けれども彼らは博士たちから高価な贈り物を受け取っていました。黄金、乳香、没薬はイエス様一行の旅を経済的に支えたと考えられます。

私たちの人生行路も、行く道が分からなかったり、思いがけない危険に襲われるなど容易ではありません。しかし、私たちが信じる神は、導きと守りを備えておられる方です。この御方に信頼すれば、私たちは乏しいことがありません。

2025年、教会においても、個人においても、主の導きを求めて進みましょう。(泰)

1月5日 聖日礼拝

第1礼拝 9時 荻野牧師 荻野しん
第2礼拝 11時 吉田潔兄 高橋美姉

前奏

招詞 ハバクク書2章20節

会衆賛美 聖歌134 おおくのかむり

会衆賛美 イエスの血潮で

主の祈り 詩篇37篇1〜7節

交誦 詩篇37篇1〜7節
(旧約聖書968頁)

礼拝祈禱

使徒信条

聖書朗読 マタイの福音書

2章1〜16節
(新約聖書 2頁)

説教 備える神

荻野泰弘牧師

聖餐 (第2礼拝)

会衆賛美 聖歌211 わが身を導く

献金

頌栄 聖歌376 父御子御霊の

終禱

報告

感謝祈禱 奏楽

※第1礼拝は、礼拝後に聖餐式

【招詞(主の招きのことば)】

ハバクク書2章20節「主は、その聖なる宮におられる。全地よ、主の御前に静まれ」アーメン

【本日の予定】

■会堂清掃 礼拝後

■小学科礼拝 11時〜3階

■ホザナ礼拝 11時〜6階
お話 林伝道師

■バイブルカフェ お休み
12時15分〜45分 談話室

■会長会 13時〜 牧師室

2月に池上梅園での合同例会を予定しています。

※本日、荻野牧師は東京育成園の夕礼拝奉仕です。

【本日の礼拝奉仕者】

■第1礼拝 林伝道師

礼拝祈禱 司会者

聖書朗読 司会者

献金1階 司会者

献金祈禱 荻野牧師

報告 司会者

受付 荻野牧師

配信 配信チーム

聖餐 配信チーム

■第2礼拝

礼拝祈禱

聖書朗読

献金1階

2階

献金祈禱

報告 司会者

会場 荻野牧師

受付 パワポチーム

パワポ

聖餐

【次週の説教】

説教者 林伝道師

【2025教団標語】

「私のたましいよ

黙って ただ神を待ち望め。

私の望みは神から来るからだ。」

詩篇 62篇5節

年頭に掲げられた教団標語を心に留め、それぞれに思いを巡らしながら主の語りかけに耳を傾けましょう。

新年聖会 (教団主催)

1月13日(月・休)

時間 聖会Ⅰ 午前10時半より

聖会Ⅱ 午後1時半より

会場 蒲田シオン教会

講師 阿部信夫師

エバンジェリカル・コングリゲーションナルチャーチ・ジャパン代表

相模原グレースチャペル 牧師

【来週は…】

■1月12日(日)

各会例会

新年最初の各会例会日です。

主にある交わりを楽しみましょう。

各会の御案内を

ご確認ください。



・新年聖会は、教団主催の集会で、新年最初の連合集会です。オールシオンメンバーが一堂に会します。ぜひご出席ください。みことばの恵みと主にある兄弟姉妹の交わりに共にあずかりましょう。

・オンライン配信があります。

・昼食の用意はありません。飲食スペースはありません。弁当持参、外食など、各自で済ませてください。

【教会暦】

明日1月6日は、教会暦では「公現日」(エピファニー)です。東の国の博士たちがイエス様を礼拝したことを記念する日です。日本ではクリスマスを終えるとお正月に意識が集中しますが、本来の教会の歩みとしては、クリスマスの後は「降誕節」としてイエス様の降誕を祝います。

教会暦は一般の暦に先駆けて、アドベントから新しい1年のサイクルが始まります。

柱となるのは、クリスマス、イースター、ペンテコステ。これらが前半の半年に配置されていることから上半期は「主の半年」と呼ばれます。そしてペンテコステを境に後半の下半期は「教会の半年」と呼ばれます。

キリスト教信仰は歴史の事実に則った信仰です。神の民の歴史に、主なる神は干渉し、介入し、共に歩んでくださいました。そのことが記されるのが聖書です。教会暦を覚えることは、神の民の歴史をなぞることによって、神の救いの御業を想起し、それが今、私の人生に現わされていることを覚えるという意味があります。